

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ

Theme

「節電について」

学校・園名

School name

草津市立常盤小学校(5年生)

講師等

Lecturer etc.

滋賀県地球温暖化防止
活動推進センター

実施日

Date

平成24年7月18日

教科等

Subject etc.

総合的な学習の時間

授業

Class

はじめに、50年前の家と現在の家の配置図に家電製品のカードを貼り、電気製品の多さを比較して、昔よりも現在のくらしは、電気の消費量が多いことを学びました。液晶カラーテレビのサイズや掃除機の強弱のちがいで消費電力に違いがあることを講師の方が話されました。エアコンは扇風機の電気使用量の10倍かかることを話されると、子どもたちは驚いた様子でした。また、節電のクイズをみんなで考えた後、電気を使わずに夏を涼しく過ごす生活の工夫について具体的に教えていただきました。

この授業は、学習参観で実施され、保護者の方も夏休みを前に一緒に考えていただきました。授業の後に保護者の方は、「節電するというのは、なかなか難しいですが、家では、できるだけエアコンをひかえるようにはしています。今日の学習をいかして、夏休みの節電について具体的にできることを、子どもと一緒に考えたいと思います。」とおっしゃっていました。



感想

Impression

児童より Impression from Children

- 50年前と今の生活をくらべると、今は、電気の消費も多いので、これからは、エアコンの設定温度を上げて少しは節電に取り組みたいと思います。
- 家族でできるだけ1つの部屋で集まって、エアコンの温度も高くして節電していきたいです。
- お風呂のお湯や、シャワーなども電力を使っていることがわかりました。シャワーばかり使わず、お風呂のお湯を使って体を洗いたいと思いました。
- 僕は、夜遅くまでテレビを見ないようにして、節電をしたいです。

学校より Impression from school

- エアコンやドライヤー、掃除機など子どもたちの身近にあるものがクイズのテーマになってわかりやすく、生活にいかせる学習となりました。また、家の配置図に家電製品のカードをはるなど、体験的、視覚的に学習ができて良かったです。
- エアコンと扇風機の電気使用量の対比をしていただけたのは、子どもたちにとって勉強になったと思います。節電の効果について意識できるような学習の工夫が必要だと再認識しました。

講師より Impression from lecturer

- 6月から学校で節電に取り組んでこられたようですが、今回は「夏休みには家庭においても」という学習の目的を事前の打合せで確認して、プログラムを考えました。連携授業を行う際には、これまでの授業の流れや学校の様子をあらかじめ確認しておくことの大切さを感じました。